



「さあ楽しもう」で塗装業の未来を変える 五日市塗装工業が挑む“脱4K”とイメージ改革

スピーカー

晴山 潤一さん

株式会社 五日市塗装工業 代表取締役
(岩手県盛岡市)

<https://morioka-toso.com/>



ブランディングクラブ
オンラインサロン

10月16日(木)
17:30~18:30

- ◆Zoom によるオンライン開催
(17:15 に Zoom を立ち上げます)
- ◆事前に参加の可否をご連絡ください

4K イメージを変え、若者に選ばれる会社へ

1954 年創業の五日市塗装工業は、住宅や公共施設の塗装やリフォームを手掛け、安定成長を続けている老舗企業です。4 代目社長の晴山潤一さんは、業績が好調な一方で、業界全体に広がる人手不足や職人の高齢化、そして「きつい・汚い・危険・くさい」という 4K のイメージに強い危機感を抱いていました。

若者に選ばれる会社にするため、社長就任前から外部専門家の助言を受け、改革に取り組み始めました。課題を「ステートメントの策定」「企業イメージの刷新」「地域とのつながり」「働きやすい環境整備」の 4 つに整理したのです。

「さあ楽しもう」から始まる企業改革

まず、創業以来の理念を振り返り、先代で父の口癖であった「楽しもう」という言葉に着目しました。「どうせ働くなら楽しく」という思いを込め、「さあ楽しもう／READY? HAVE FUN!」という企業ステートメントを策定しました。

そして、多様性を象徴する「水族館」をモチーフにした「アクアファンプロジェクト」として、新しい企業イメージを打ち出しました。

発表当初は社員の戸惑いもありましたが、次第に社内に浸透し、制服や社用車、現場シートのデザインを統一することで一体感が高まりました。



地域とともに、楽しく働ける未来を

また、地域とのつながりを深めるために、保育園児とその保護者が参加する「お絵かきキッズイベント」を開催しました。社員が自主的に参加し、地元メディアにも取り上げられるなど、地域との温かい交流が生まれ、企業イメージの向上にもつながりました。

さらに「働きやすい職場づくり」として、建設業界では導入率が低い「完全週休二日制」にも踏み切りました。稼働日数が減る中でも、DX 化による生産性向上により、売上・粗利益ともに過去最高を達成しました。

採用応募者数も前年比 5 倍に増加し、「楽しく働ける職場づくり」が人を惹きつけ、塗装業の未来を切り開く原動力になっています。



今回のサロンでは、9 月 22 日(月)に配信しました晴山さんのブランディングレポートに基づき、「ステートメントの確立」、「働きがいのある環境づくり」などについて意見交換をします。ぜひご参加ください。

次回
予告

11 月 6 日(木) 17:30~18:30

千葉 英男さん

(ライフアシスタンスカンパニー代表取締役)

「中小企業が生成 AI を仕事に活かす方法(仮)」



ブランディングで中小企業と地域のいまを輝かせます

株式会社 **クエストリー**

TEL: 03-5148-2508

QUESTORY <https://www.questory.co.jp>